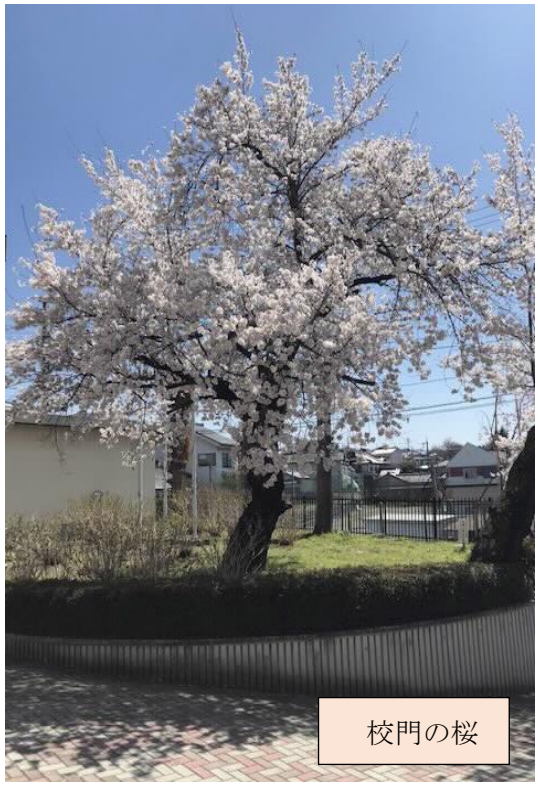
小商　あさま便り

たった3年間の学生生活でしたが、その後の今日迄…長い長い年数と比べとっても
貴重な充実した年数に思えます。これも沢山の仲間の皆様のおかげです。 比田井

本日（4月7日水）、令和３年度入学式が挙行できました。
校門わきの桜もちょうど見頃で、小諸八重紅枝垂れも咲き始めました
小諸商業高校長　岩本


校門の桜

小諸八重紅枝垂れ

2021年（令和3年）3月27日 土曜日

東信

どうする高校再編

両校生徒 懇話会で発表

小諸商業高・小諸高

「良さ 全部詰めて」

県教委は25日夜、県立高校の第2期再編に伴い小諸商業高、小諸高（ともに小諸市）の再編統合について議論する「小諸新校再編実施計画懇話会」の3回目会合を小諸高で開いた。両校の生徒が現状と新しい学校に期待する姿について、それぞれ発表した。

小諸商業高生徒会長で2年の小口貴子さん(17)らは1、2月に行った全校生徒アンケートを基に説明した。商品販売会「スマイル小商店街」や5カ月間にわたる企業実習「デュアル学習」の取り組みを紹介。商業を学べる点や、各種検定資格を取得できる点を現在の長所に挙げつつ、小諸駅近くで制服のある学校で「両校の良さが全て詰まった」新校を要望した。

小諸高生徒会長で1年の小林あやのさん(16)ら6人は、生徒会役員と生徒有志計7人でまとめた案を発表した。音楽棟の恵まれた環境に感謝した上で、新校は更衣室と打楽器練習室の整備が必要―と指摘。両校の計4科（普通、音楽、商業、会計システム）に加え、多言語学科新設を提案した。現在の学校は小諸駅から約2キロ離れて、坂道を通って通学しており「複数の科があっても遠くならない校舎」を求めた。

懇話会に先立ち、学校の校舎の位置を検討する「校地検討部会」の初回も非公開で開かれた。部会長に小諸市副市長の田中尚公氏を選んだ。

壇上で発表する生徒会役員ら

3 月 27 日 11:27 ·

3 月 26 日小諸高校で第 3 回小諸新校再編実施計画懇話会が催されました。
今回は対象校となる小商・小諸両校の生徒による「期待される新校の姿について」プレゼンテーションが行われ、そのテーマに沿って意見交換がなされました。生徒たちは現在の体験からの改善点や新校に向けての要望などが発表されました。その後の意見交換でも、相手校の発表した内容について質しあうなど、活発な意見交換がなされました。懇話会に先立ち開催された「第 1 回校地検討部会」や、今後の懇話会などで議論される課題なども出され実のある懇話会となりました。　　同窓会長　高見沢敏光

いつもタイムリーな貴重な情報発信ありがとうございます。
我々戦中・戦後世代をピークとして経済発展を遂げてそれを享受してきました。その後人口減少、少子高齢化と過疎化の問題は、どこの地域でも共通の課題としてありますね。
それらを現実として見詰めて、これからの IT・AI の時代を見据えて新しい地域社会の編成が必要不可欠となってきました。再編後、新しい歴史を刻んで行って欲しいものです。　　横谷

桃の節句号有難うございます。
会報が送られると雄大な浅間山、千曲川、
故郷は元気になります。感謝します
浅川　泰（あさかわ　ゆたか）

懐古園の桜

コロナで外出がままならず、過ごしています。
浅間会のお便りありがとうございました。
いつも元気だと、思っていたあなたでしたので、
体調が悪かったとは思ってもみませんでした。
私も 77 歳となって日々疲れを感じています。
コロナが落ち着いてきたら会いましょうね。　平岡サヨ子

今日は！「 小商　あさま便り　桃の節句号」、また、長野県　東信　高校再編整備計画の抜粋ありがとうございました。再編の動きがよくわかりました。

60 年前の 15 歳の春を思い出します。 1 月に願書を出しに初めて登校、正門から玄関を通り左側の事務室に願書を出しました。 2 月 2 回目の登校で受験、3 月半ば 3 回目の登校で合格発表・確認。緊張の連続でした。

4 月入学式、桜の開花とともに上級生による応援練習の洗礼…。
真新しい高校生活のスタートでした。小商祭、体育祭等全校一帯での行事も懐かしいです。

いよいよ 4 月から新たな年度のスタートですね。新たな歴史が始まります。
少子化とはいえ、時代の流れで歴史ある地元の高校が消えていくのは大変残念です。
36 年当時、東信地区には多くの高校があったんですね。
どこの家もみんな貧しいながらも子供には親は無理をしてでも高校までは通わせ、
教育を付けて社会に送り出してくれました。本当に感謝です。
親の有難みを痛感いたします。ワクチン接種も始まり、早期のコロナ終息を願っております。　高田

おはようございます。
昨日は坐禅をしている上尾市の東榮寺で『東日本大震災 10 年』鎮魂の鐘を撞いてきました。
早いものでもう 10 年ですね。まだまだ復興半ばです。
まだ見つからないご遺体も・・。
ご冥福をお祈りいたしますと共に一日も早く以前の故郷に戻って　もらいたいものです。
寒緋桜が開花しました。勝　俣　俊　一

新年度がスタートいたしました。　学生・社会人は、4月1日を特別の意味をもって迎えます。
今年は、その上にコロナ禍というこれまでに無い状況でのスタートです。
岩本校長先生も変わらずに在籍とのことで何よりでした。
東京もこの1年大変な日々でしたが、これからの見通しは全くたちません。高齢者の1日一ヶ月は、とても貴重な時間なのですが、残念です。　ワクチンの一日も早い浸透を願っています。
～～「どうぞ充分ご自愛の程、お元気でお過ごしください❣」～

2021年4月８日　《2021・新年度号》
東京浅間会・会報編集部：田口勝美　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　:katsumit@jcom.zaq.ne.jp